

平成28年度（2016年度）各部署戦略計画（重点取り組み）

部局名： 上下水道局

部局長名： 足立 孝博

1 部局の取組方針

（平成28年度の方針を簡潔に記載すること。）

上水道：安全・安心な水の安定的供給→良好な水源の確保と施設の耐震化の促進及び局庁舎の建替・移転
 ：経営の安定化→宝塚市水道事業経営戦略の着実な実行による経営基盤の強化

下水道：下水道施設の機能向上→管路施設の長寿命化と耐震化の促進及び浸水区域の解消
 ：経営の安定化→適正な下水道使用料の設定及び宝塚市下水道事業経営戦略の着実な実行による経営基盤の強化

2 後期基本計画に掲げる7つの重点目標

＜計画の推進に向けて＞

- ① 市民と行政の協働による「新しい公共」の領域の拡充
- ② 行政マネジメントシステムの機能強化と効果的運用

＜施策展開において＞

- ③ まちの個性を生かし、高めていくまちづくり（宝塚ブランドの強化）
- ④ 子どもたちの成長を地域全体で支えるまちづくり
- ⑤ すべての市民が、安心を実感できるまちづくり
- ⑥ 環境の保全と、循環型社会の構築に向けたまちづくり
- ⑦ 超高齢社会に対応したまちづくり

3 宝塚市マネジメント方針2016をふまえた平成28年度の施策・事業展開

（宝塚市マネジメント方針2016をふまえた各部署における平成28年度の施策・事業展開の概要、成果目標等を記入すること。重点化の内容・手法等も記載すること。項目はなるべく絞ること。）

No.	取り組み事項	概要	成果目標	重点目標との関係
(1)	安定かつ良好な水源の確保	・阪神水道企業団からの受水に向けて、施設の整備に取り組む。 ・阪神水道企業団からの受水完了後の水源間(阪神水道、県営水道、惣川・小浜浄水場)のバックアップ計画の検討に着手する。	おいしい水の安定的供給	⑤
(2)	水道施設の耐震化(基幹施設耐震化事業)及び管路更新	・水道の基幹管路(導水管、送水管、配水幹線)や配水池・加圧所の耐震化工事を進めるとともに、経年化管路の更新に取り組む。	災害時における安定的供給及び効率的な施設管理	⑤
(3)	水道施設の効率的な運営	・惣川浄水場において、太陽光発電設備の設置に取り組む。 他の施設での発電設備の設置について、引き続き検討する。 ・浄水場における夜間の運転管理業務の民間委託について、引き続き検討する。	効率的な施設管理	⑤ ⑥
(4)	上下水道局庁舎建替・移転	・来庁者や職員の安全を確保し、災害時の復旧拠点となる上下水道局庁舎の建替えに取り組む、太陽光発電設備及び雨水貯留施設の設置を検討する。	信頼できる上下水道の構築	⑤ ⑥
(5)	惣川浄水場浄水処理の強化	・水道水に対する市民からの信頼回復に向け、ダム水に発生するアオコ等に起因するカビ臭の発生を防止するため、詳細設計に引き続き、2016年度に工事に着手し、2017年度末の完成を目指す。	おいしい水の安定的供給	⑤
(6)	下水道施設の耐震化(公共下水道事業(管更正))	・下水道施設長寿命化計画に基づき、武庫川右岸地域の汚水管路について、ライフサイクルコストの縮減を図りながら耐震化と併せた改築工事に取り組む。	効率的な施設管理	⑤
(7)	公共下水道雨水対策の強化(公共下水道事業(雨水))	・市内の浸水区域26箇所のうち、未整備区域3箇所の早期解消を図るため、雨水排水施設整備に取り組む。 ・南ひばりが丘3丁目地区について、雨水整備計画の見直しを含め、長期的な対策を検討する。 ・老朽化している武庫川ポンプ場の改築更新に着手し、花の道や旧ガーデンフィールズ周辺の浸水被害の軽減を図る。	浸水区域の解消	⑤

(8)	水道事業の経営健全化	宝塚市水道事業経営戦略の着実な実行による経営基盤の強化	水道事業の安定経営	⑤
(9)	下水道事業の経営健全化	宝塚市下水道事業経営戦略の着実な実行による経営基盤の強化	下水道事業の安定経営	⑤

4 実施計画事業、その他の新規・拡充事業（予定）

（新規・拡充事業については、事業の規模や事業費の額に関わらず挙げること。）

		事業名	上記3との関係
(1)	阪神水道受水事業(武庫川右岸地区新水源開発事業)		(1)
(2)	水道水源間バックアップ機能強化事業(水道)		(1)
(3)	管路更新事業(水道)		(2)
(4)	基幹施設耐震化事業(水道)		(2)
(5)	新庁舎建設事業		(4)
(6)	お客さまセンター運営委託事業		(8)、(9)
(7)	惣川浄水場浄水処理強化事業		(5)
(8)	水道配水施設管理業務委託事業		(3)、(8)
(9)	公共下水道事業(管更正)		(6)
(10)	公共下水道事業(汚水)		(6)
(11)	公共下水道事業(雨水)		(7)
(12)	水洗化促進事業		(9)
(13)	汚水管路維持管理業務包括委託事業		(9)

5 行財政改革の取り組み

（※行財政運営に関する重点取組項目（平成28年度～）及び行財政運営アクションプラン（平成23～27年度）に基づく継続した取り組み等について、事務事業レベルで具体的に記入すること。）

行財政運営アクションプラン				重点取組項目		具体取組項目名 内容（事業の縮小、実施手法の改善等）	成果 （効果額等） （単位：千円）
目指す方向性	推進項目	取組項目	No.	表番号	No.		
3	(2)	①	2	1-3	1	（仮称）宝塚市水道事業経営戦略に基づく経営健全化 水道事業の新たな中長期計画である経営戦略に基づき、経営健全化に取り組む。	38,561
3	(2)	①	2	1-3	2 2-2 2-3	（仮称）宝塚市下水道事業経営戦略に基づく経営健全化 下水道事業の新たな中長期計画である経営戦略に基づき、経営健全化に取り組む。	14,231
3	(2)	①	2	1-3	3	下水道使用料の改定 経費削減のための企業努力を実施した上で、単年度の資金不足が発生しないよう下水道使用料の引き上げを行った。 今後、企業努力として、職員配置の見直し、更なるアウトソーシングの実施、経営システム改革及び料金収入の確保に取り組む。	291,600